



# 令和4年度 学校だより 6月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

## 異学年交流から学ぶこと

副校長 佐々木 唯吉

職員室前にある「ひょうたん池」の睡蓮が水面に鮮やかな黄色の花を咲かせ、季節の移ろいを感じさせてくれます。新年度が始まり2か月が過ぎました。子どもたちは、新しい学級にも慣れ友達と意欲的に学ぶ姿が多く見られます。子どもたちを見ていると、素敵な姿にたくさん出会います。

最高学年の6年生は、1年生が安心して学校生活を送ることができるように入学当初からの2か月間、様々な面でサポートをしています。朝、門の前でお家の人と別れて不安そうにしている子に「一緒に教室に行こう。」と優しく声をかけている子がいました。朝の準備をする場面では、始めの頃は6年生が手伝い、一緒に準備をしている様子をよく見かけていましたが、しだいに一人でも準備ができるようになってくると、少し離れた場所から温かく見守っていました。給食の準備では、全員の配膳が終わるまで静かに待たせられるように優しく声をかけていました。掃除の時間、1年生は安全への配慮から机を2人で運びます。6年生は1人でも運べるのですが、1年生の教室では2人で運んでいました。1年生のお手本として、率先垂範を示しているのです。1年生と関わっているときの6年生の表情は、とても明るく、温かさでいっぱいです。そんな子どもたちの姿を見ていると私自身も温かく優しい気持ちになれます。

さて、5月からたてわり班活動がスタートしました。初日は顔合わせ集会を行い、6年生のリーダーが中心となって班のメンバーの顔と名前が覚えられるように工夫した遊びを行いました。2回目の活動では地域清掃を行いました。たてわり班ごとに割り振られた区域をペアの子と協力して清掃する中で、自分たちの町がきれいになったことに対する満足感を得ている姿や自分も地域の一員なのだという気持ちが高まった様子が見られました。

活動後の子どもたちの振り返りを紹介します。

- ごみ拾いをする場所に行くまでにペアの子が安全に行けるように声をかけました。ペアの1年生の子もがんばってごみを拾っていました。
- ペアの子といつも一緒にいるように心がけました。低学年が道路側にならないように気をつけてごみを拾いました。
- 思っていたよりも町がきれいだったので、地域の人がいつもきれいにしてくれていると改めて感じました。

清掃中には地域の方にたくさんのお声掛けをいただき、子どもたちは地域の皆様の学校に対する温かい眼差しを深く感じる事ができた一日になりました。また、保護者ボランティアの方にも多数ご協力いただきました。誠にありがとうございました。



【地域清掃の様子】